

町消防団と高橋さんに消防庁長官表彰

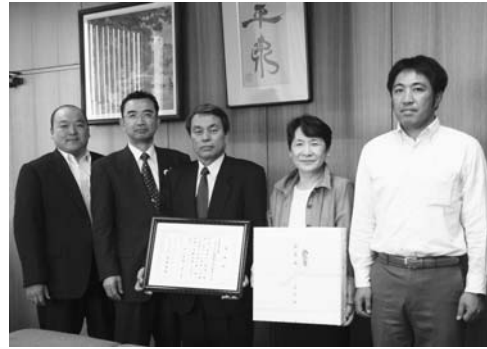


受章を菅原町長に報告する西洞消防団長(左)と高橋さん(右)

防災思想の普及や災害防衛対策の実施において他の模範と認められ、町消防団が消防庁長官表彰(表彰旗)を受章しました。

町消防団は、昭和30年4月に平泉町消防団と長島村消防団が合併して発足。常に町防災の最前線に立って、火災や自然災害から地域を守るなど、長年にわたる消防活動や地域防災への多大な功績が認められました。

また消防活動に尽力し、地域消防の発展に貢献された前分団長の高橋悦夫さん(1区)が消防功労者として消防庁長官表彰(永年勤続功労章)を受章しました。高橋さんは、昭和46年4月1日に町消防団員を拜命以来、平成16年副分団長、平成19年分団長にそれぞれ昇格。消防団幹部として、その成績が優秀で他の模範であると認められ受章されました。



受賞を報告する(左から)佐藤委員、(菅原町長)、小野寺委員長、遠藤委員、千葉委員

地域の取り組みを評価 まちなみ整備検討会に感謝状

中尊寺通りまちなみ整備検討委員会(小野寺郁夫委員長)に地域の特性を活かした良好な景観保全の取り組みが認められ、県から感謝状が贈られました。

菅原町長に受賞の報告をした小野寺委員長は、「今回の受賞は地域の人から理解と協力があり、その代表として受けたもの。これからの整備に向け一層頑張りたい」と抱負を述べていました。



菅原町長から叙勲の伝達を受けたご子息の佐藤光昭さん(左)

故・佐藤欽一さんに旭日単光章

【叙勲】地方自治功労

生前 数々の功績を残し、平成23年4月13日に逝去された元町議会議員の佐藤欽一さん(5区)が旭日単光章を受章されました。

佐藤さんは昭和31年町議会議員に立候補して初当選。以来55年4月まで6期24年在職されました。

その間、産業建設常任委員長などを歴任。地方自治の発展と住民自治の向上に尽力、貢献されました。

医療費の一部負担金などの免除には証明書が必要になります

国民健康保険や後期高齢者医療保険に加入している人で、東日本大震災により次のいずれかに該当する人は、これまで医療機関などの窓口で申し出ること、一部負担金などが免除されていました。

7月からは保険者が交付する「免除証明書」を医療機関に提示することが必要になりますので、町民福祉課で手続きを行ってください。

- 【対象者】
- ▶ 住家の全半壊、全半焼またはこれに準ずる被災をした人(一部損壊は対象にはなりません。)
 - ▶ 主たる生計維持者が死亡、または重篤な傷病を負った人
 - ▶ 主たる生計維持者が事業を廃止、または休止した人
 - ▶ 主たる生計維持者が失業し、現在収入がない人
 - ▶ 原子力災害対策特別措置法の規定による避難を行った人
- 問い合わせ先…町民福祉課 ☎46-5562

寄稿 ふるさと平泉会から

世界文化遺産登録の祝賀ムードで…ふるさと平泉会総会・懇親会開く

平泉が、世界文化遺産登録に決定的となっている6月12日、第19回ふるさと平泉会の通常総会が浅草ビューホテルで開催され、町から菅原正義町長をはじめ、5人の来賓と、ふるさと平泉会の会員90人など、1000人を超える出席がありました。

総会冒頭、東日本大震災で亡くなられた1万5千を超す犠牲者への黙祷を捧げました。

西村専次会長のあいさつでは、「大震災の被災者へのお見舞いを申し上げます。世界遺産へ、いよいよ登録なるかと喜んでいきます」と語りました。

町長就任後の初出席となる菅原町長は、来賓祝辞に立ち、「今回の大震災による平泉町の被害状況は軽微で、文化遺産関係への被害はありませんでした。沿岸の被災地には毎日給水車を送りこんで支援しました。世界遺産登録のため、今月下旬パリの委員会に出席します」と述べられました。



第19回ふるさと平泉会通常総会

ふるさと平泉会は総会、世界遺産登録祝賀ムードで盛況に

6月5日、東京・日暮里のホテルグランドウッドで平成23年度岩手県人連合会総会が、500人余の参加者で盛大に開催されました。

町からは、町長代理として滝山秀樹副町長が、ふるさと平泉会からは西村会長をはじめ8人の役員が出席しました。

今回の集いは、大震災の支援を主題とし、瀬川爾朗会長は、県人連合会から500万円の義援金を県に寄付することを決定しました。



500人を超す参加者の岩手県人の集いの会場



平泉観光大使の金澤美咲さん

それから楽しい懇親会。千葉庄商工会長の乾杯の後に、宮古出身で平泉町観光大使の歌手・金澤美咲さんが「平泉慕情」などを披露されました。会場は世界文化遺産登録祝賀ムードに包まれ、飲食と談笑は弾み、参加者のカラオケ、ビンゴゲームなどで盛り上がりました。

お開きの中締めは中尊寺・清水元執事が務められ、来年の再会を約して散会しました。

岩手県人の集い開催

ふるさと平泉会副会長 鈴木喜佐人

アトラクションでは、大船渡出身の演歌歌手・新沼謙治さんの歌とトークショーで盛り上がり、懇親会では各々の交流を図り、会食・会話を楽しみました。

平泉を掘る

今年、泉屋遺跡は、平泉駅の南約100m付近を調査し、掘立柱建物2棟、溝6条、土坑14基、カマド状遺構3基、柱穴117個が見つかりました。

一番大きい溝は、幅75~100cm、深さ26~44cmの大きさです。見つかった長さは11.7mほどで、西北西から東南東方向に伸びています。埋土からは「かわらけ」や常滑などの国産陶器が出土していることから、時期は12世紀と判断しました。なお溝の西側延長線上には、町道が位置しており、その脇からは東西方向に伸びる12世紀の道路側溝が見つかることから、道路側溝もしくは区画溝の可能性が考えられます。

この溝の南側から、いわゆる「トイレ状遺構」(汚物廃棄穴)が3基見つかりました。大きさは直径70~94cmの円形をしており、深さは80cm前後ありました。この穴は埋め戻されていて、底からは、現在のトイレトペーパーに当たる「ちゅう木」やウリ科の種子など

発掘最前線⑨

一泉屋遺跡第28次調査一

が見つかりました。穴の大きさからみて人がまたいで用を足したというよりは「おまる」で用を足した汚物を穴に投げ入れて埋め戻した「トイレ状遺構」(汚物廃棄穴)と考えられます。

また道路側溝や堀の近くから「トイレ状遺構」が見つかる傾向は志羅山遺跡の過去の調査でも確認されています。



◀ 泉屋遺跡28次調査区全景(東から)